

# 20代の女性100人に聞く、薄付きメイク肌 vs きちんとカバー肌の印象比較

## 「薄付きメイク肌」派の20代女子も 実は、約8割が「きちんとカバー肌」仕上がりを支持！

※独自調査結果あり

カネボウ化粧品のメイクブランド「KATE（ケイト）」では、20代女性100人を対象に、ファンデーションに関する調査を行いました。主な調査結果は以下の通りです。

### 調査結果サマリー

#### 20代女子の8割は「薄付きメイク肌」が好き、普段から実践している

- ◇ ファンデーションであまり隠さず素肌感を残した「薄付きメイク肌」の好感度は84.0%。一方、ファンデーションでしっかりカバーした「きちんとカバー肌」の好感度は61.0%。20代女子は薄付きメイク肌が好き。
- ◇ 「薄付きメイク肌」好きの20代女子、普段のベースメイクは、「顔全体にファンデーションを薄く塗ったメイク」（55.0%）がトップ。

#### しかし、20代女子の7割が肌に自信がなく、8割以上がファンデーションの失敗経験あり

- ◇ 「薄付きメイク肌」好きが多い一方、自分の肌に「自信がない」（72.0%）20代女子が7割も。不可欠なメイクアイテムは「下地」（63.5%）、「アイブロウ」（52.1%）、「ファンデーション」（43.8%）と、ポイントメイクより下地やファンデーションで肌を隠す方を優先？
- ◇ 20代女子の86%がファンデの失敗経験あり。「肌の色と合わなかった」「肌悩みが隠せなかった」がツートップ。
- ★ コラム：「実は見ている20代男子 女性のファンデの失敗は厚塗りすぎ」

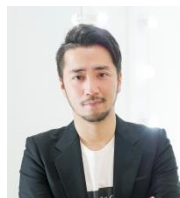
#### 実は、20代女子から見て印象美人度が高いのは、「きちんとカバー肌」

- ◇ 薄付きメイク肌ときちんとカバー肌の写真を比較すると、約8割（モデル①：82.0% モデル②：79.0%）が、きちんとカバー肌の方が、「美しい」と感じる。
- ◇ 具体的な印象について、薄付きメイク肌は「ナチュラル」、「かわいい」が高いのに対し、きちんとカバー肌は「上品」「清潔」「明るい」「美しい」など、多くの項目で高ポイントを獲得。自分がしたいベースメイクもきちんとカバー肌に軍配。

調査概要 ● 調査時期：2017年8月28日（月）～29日（火） ● 調査方法：インターネット調査 ● 調査対象：全国の20代女性100人

### 有識者コメント

ベースメイクのトレンドは、「ナチュラル肌」から「オトナ肌」へ。きちんとカバーできているけど厚塗り感のない肌がトレンドです。肌は、顔の中で一番面積を占めているので、人の印象に与える影響は大きい。メイクはベースメイクで決まるといっても過言ではありません。（KUBOKI / ヘアメイクアップアーティスト）

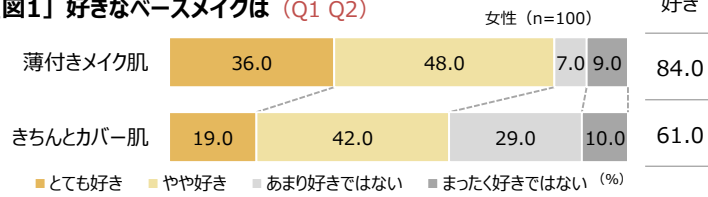


# 薄付きメイク肌 vs きちんとカバー肌 20代女子が好きなのは「薄付きメイク肌」

## ★ 女性が好きなベースメイクは「薄付きメイク肌」

女性のベースメイクについて、女性の8割以上がファンデーションであまり隠さず素肌感を残した「薄付きメイク肌」が「好き」（84.0%）と答えています。しかし、ファンデーションでしっかりカバーした「きちんとカバー肌」では、61.0%と好感度が低くなります【図1】。

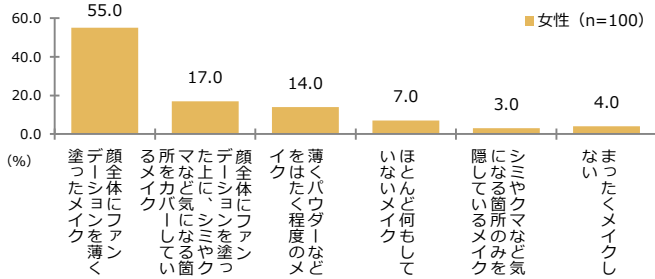
【図1】好きなベースメイクは (Q1 Q2)



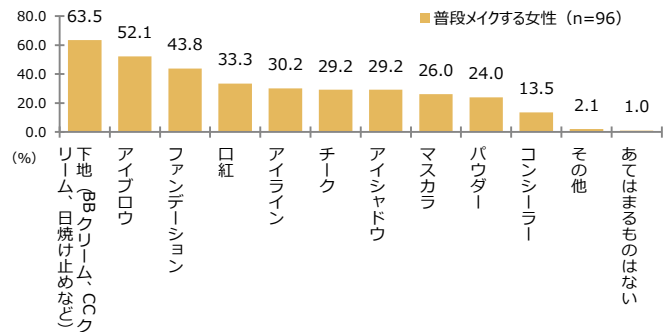
## ★ 薄付き肌志向で薄付きメイクを実践するも、肌には自信なし。メイクに下地やファンデは絶対欠かせない！

普段しているベースメイクは、薄付きメイク肌が好きなら「顔全体にファンデーションを薄く塗ったメイク」（55.0%）が過半数【図2】。しかし、自分の肌に自信があるかと聞くと、72.0%は「自信がない」と答えています【図3】。普段メイクをする女性に欠かせないメイクアイテムを聞くと、「下地」（63.5%）、「アイブロウ（眉）」（52.1%）、「ファンデーション」（43.8%）、「口紅」（33.3%）、「アイライン」（30.2%）の順となり、口紅や目元のポイントメイクより下地やファンデーションを重視しています。肌に自信がないからか、肌を隠したいという思いが感じられます【図4】。また、ファンデーションで失敗した経験を聞くと、「肌の色と合わなかった」（41.0%）と「肌悩みが隠せなかった」（36.0%）など自分の肌をキレイにできなかったことへの不満が最も多く、86.0%もの女性がファンデーションでの失敗を経験しています【図5】。

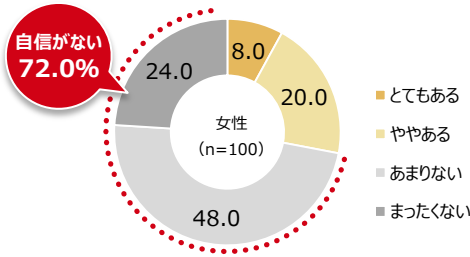
【図2】ふだんのベースメイク (Q2)



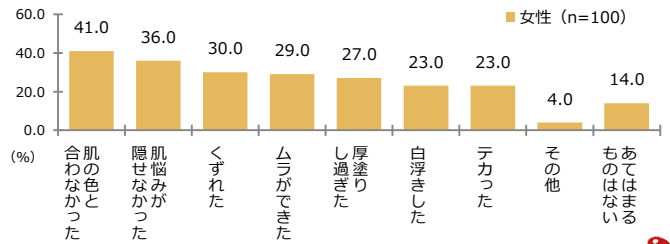
【図4】欠かせないメイクアイテム (Q3)



【図3】自分の顔の肌に対する自信 (Q4)



【図5】ファンデーションの失敗経験 (Q6)



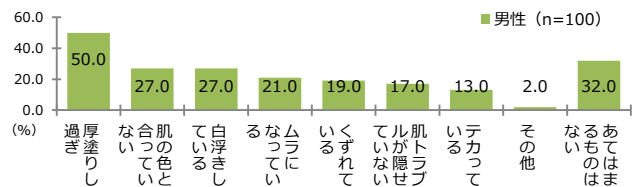
### column

## 目ざとい男子?! 男性から見た女性のファンデと肌

20代男性100人に、女性のお化粧を見てファンデーションが失敗していると思ったことを聞くと、ダントツで多いのが「厚塗りし過ぎ」（50.0%）で、次いで「肌の色と合っていない」「白浮きしている」（同率27.0%）などの意見が多くなっています。自分の顔の肌に自信がない女性が多い中、肌悩みを隠そうとした結果、男性からは「厚塗り」と見られてしまう・・・ということがあるのかもしれません。

また女性の肌を見て気になったことは、「ニキビ・ニキビ跡」（36.0%）、「肌荒れ」（33.0%）、「毛穴」（27.0%）の順となっています。自分では隠しているつもりでも、意外と男性も女性の肌をしっかりチェックしているようです。

Q.女性のファンデーションを見て失敗していると思うこと (Q7)

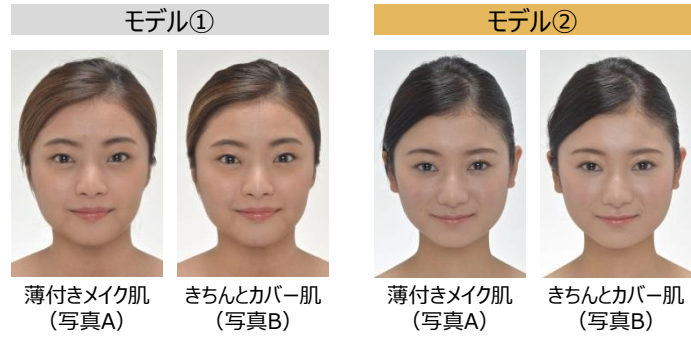


Q.女性の肌を近く見て気になったこと (Q8)



# 薄付きメイク肌 vs きちんとカバー肌 「きちんとカバー肌」の方が印象美人

次に、2人のモデル（モデル①とモデル②）の、同一のファンデーションを薄く、素肌感を残して塗った「薄付きメイク肌」（写真A）と、しっかり塗った「きちんとカバー肌」（写真B）の写真を提示して、その印象について答えてもらいました。



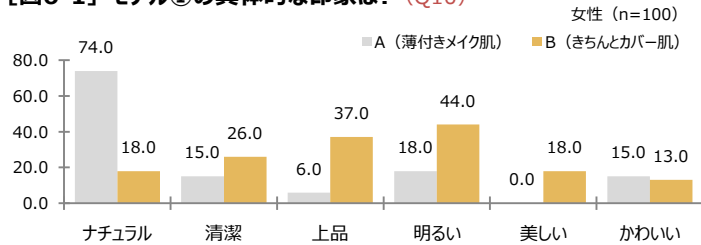
## ★ 薄付きメイク肌ときちんとカバー肌の印象を比べてみると、「きちんとカバー肌」が圧勝

### 女性が自分でしたいメイクも、もちろん「きちんとカバー肌」

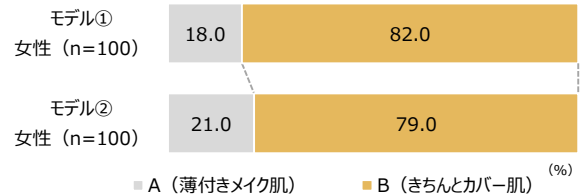
モデルの写真Aと写真Bを比較して、具体的にどんな印象を持つか聞くと、モデル①の写真Aは「ナチュラル」（74.0%）な印象が際立って高いのに対し、写真Bは「明るい」（44.0%）、「上品」（37.0%）などのイメージが高く、多くの項目で写真Bの方が評価されています【図6-1】。モデル②についても同様の傾向で、写真Aは「ナチュラル」（55.0%）な印象が強いのに対し、写真Bは「上品」（51.0%）、「清潔」（37.0%）、「美しい」（34.0%）といった女性にうれしい印象を獲得しています【図6-2】。

また、美人だと思うのは、モデル①、モデル②ともに写真B（モデル①82.0%、モデル②79.0%）の方でした【図7】。さらに、自分がしたいと思うメイクも写真B（モデル①81.0%、モデル②76.0%）という結果になりました【図8】。

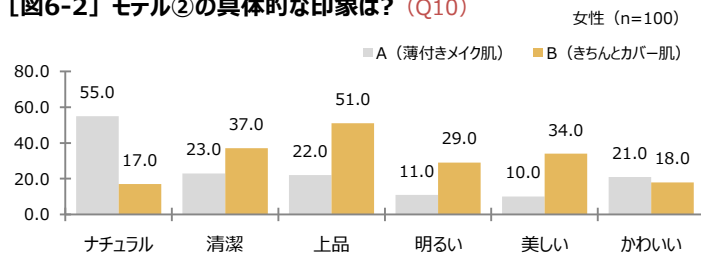
【図6-1】モデル①の具体的な印象は？（Q10）



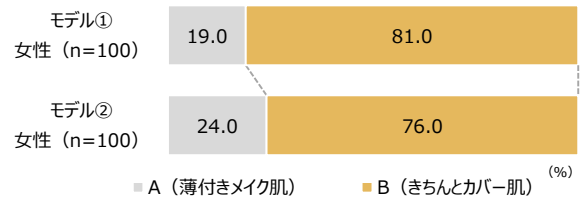
【図7】美人だと思うのは？（Q11）



【図6-2】モデル②の具体的な印象は？（Q10）



【図8】自分がしたいメイクは？（Q12）



### KUBOKI / ヘアメイクアップアーティスト

女性誌だけでなく、メンズ、Show、映画などさまざまなジャンルに活動の場を置きアーティスト、俳優、タレントのヘアメイクも手がける。  
VOCE（講談社）「月刊☆ハッピーコスメ」連載中



#### ★ ベースメイクのトレンドは、ナチュラル肌からオトナ肌へ

長らくナチュラルな肌が主流でしたが、ここ1年ほどでベースメイクのトレンドはきちんとカバーした「オトナ肌」に移ってきています。

少し前にはやった「ツヤ肌」は、顔を立体的に、女性らしく見せてくれる半面、膨張して見えるというデメリットもあるので、実は人を選んでしまうベースメイク。今は、きちんとカバーできているけど厚塗り感のない、触るとすべつとしているような肌がプロダクティブにもトレンドです。

きちんとカバーした「オトナ肌」は陰影がつけやすく、今はやりの骨格感、フェイスコントラストをつけるメイクトレンドにも合っていると思います。

その背景には、今の若い女性よりも少し上の世代、かつてトレンドを牽引してきた女性たちの影響が大きいと思います。今も一線で活躍していてパワーがある、オトナ世代への憧れが根底にあるのではないのでしょうか。ただかわいいだけではない「オトナっぽいかわいさ」「オトナっぽいきれいさ」が少し前からメイクの主流になってきていると感じます。

#### ★ 第一印象を大きく左右するベースメイク

男性も女性も関係なく、肌が人の印象に与える影響はかなり大きいと言えます。

肌は顔の中で一番面積を占めているので、肌がきれいに見えるというだけで「ちゃんとしている」「清潔感がある」といった印象操作までできる。その人の内面まで映し出しているかのように思わせる部分ではないでしょうか。でも、肌に全くトラブルがない人は珍しい。調査でも、7割もの女性が「肌に自信がない」と答えています。大体、どんな人も何かしら悩みを抱えていますよね。

ベースメイクは、しっかりと肌の粗は隠してくれて、きちんとして見えるけど、塗ってます感がない、まるで、もともと肌が美しいかのような仕上がりが理想です。メイクはベースメイクで決まるといっても過言ではありません。

今は、テクノロジーが進化して、高機能なファンデーションがたくさん登場しているので、あまり苦手意識を持たずに、いろいろ試してもらいたいですね。